『北陸新幹線県内全線開業に向けたアクションプラン』のポイント

- 〇本県にとって「北陸新幹線県内全線開業」は、「第二の開業」であり、単なる交通手段の一延伸に止まらず、「南加賀地域をはじめとする石川県の、まだまだ隠された素晴らしい魅力」を、「全国に改めて発信」し、「より一層の人を呼び込む」ことで、県内全域の振興を図る絶好のチャンスである。
- ○このチャンスを活かすためには、金沢開業時に掲げた3つの柱を継承しつつ、まずは、南加賀地域を中心とする各地域の資源の発掘や磨き 上げをしっかり行う必要がある。その上で、社会情勢の変化にきちんと対応しながら、様々な形で、国内外にその魅力を発信することで、「第二の開業」と呼ぶにふさわしい効果を生み出していくことが重要であり、このような観点から、アクションプランを策定したところである。

I 地域資源の発掘・磨き上げによる魅力や満足度の向上



3つの柱に沿って、延伸地域をはじめ、各地域の特色を活かした受け地の地域資源の発掘・磨き上げに取り組む。

おもてなしの向上

旅行者の満足感を高める魅力ある観光地づくり

・伝統工芸、ものづくり産業等を活用した体験型観光プログラムの開発、旅行商品化

食文化の魅力向上

- 1 食文化の魅力を堪能できる機会の充実
 - ・本県の食の魅力を活かした誘客拡大
- 2 県産食材の魅力拡大による「いしかわ」ならではの味覚づくり
 - ・本県の特色ある農林水産物のブランド価値の向上

歴史・景観を活かした地域づくり

- 1「いしかわ」の優れた歴史・景観の磨き上げ
 - ・温泉地を含む街並みなどの観光資源、白山眺望などの景観資源の保全と魅力向上
 - ・民間と連携した里山再生のための木場潟公園東園地の整備促進
 - ・金沢城公園鼠多門・鼠多門橋の復元整備、二の丸御殿の調査、国立工芸館の移転整備
 - ・金沢港の機能強化整備、レール&クルーズの定着
- 2 歴史・景観の魅力に触れる機会の充実
 - ・歴史的な回遊ルートの形成

II 国内観光客向けのPR・情報発信の強化



延伸による新たな強み(関西圏、中京圏との時間距離の短縮、北陸三県で新幹線が開業)を活かし、戦略的なPR・情報発信に取り組む。

本県を核とした広域周遊観光を促進するための効果的なプロモーションの強化

- ・関西圏、中京圏等でのPR強化
- ・北陸三県等の連携による広域周遊観光の促進(北陸デスティネーションキャンペーンの実施)

Ⅲ 国外観光客向けの対応の充実



国の海外誘客の取組み、東京オリンピック・パラリンピック、大阪万博等、開業前後の大規模イベントの開催を見据え、国外観光客向けの対応の充実を図る。

- 1 外国人観光客の受け入れ環境の充実
 - ・キャッシュレス対応の促進
- 2 東京オリンピック・パラリンピック開催とその後を見据えた情報発信
 - 新たなゴールデンルートの定着
 - ・小松・香港便等、国際定期路線を活用した周遊観光の促進

IV 開業効果の多方面への波及、交流基盤づくり



開業効果の多方面への波及、開業効果を下支えする交流基盤の整備に 取り組む。

- 1 開業効果の多方面への波及
 - ・リターン就職の推進
 - ・移住・定住の促進
 - ・戦略的な企業誘致の推進
- 2 魅力ある交流基盤づくり
 - ・「ダブルラダー輝きの美知(みち)」構想の推進(国道8号、のと里山海道の4車線化、加賀海浜産業道路等の整備促進)
 - ・敦賀延伸開業を見据えた小松空港の活性化